

特集

子どもと

「本」の出会い

大好きな絵本を手に、笑顔の子どもたち。
皆さんが大好きな本と出会ったのは、いつでしたか？
子どものころに読み、心に残っている本はありますか？
今回は、子どもと「本」との出会いについて特集します。



大切にしたい

本との

出会い

今の子どもたちは、すてきな本と出会っているのでしょうか。
子どもが本と出会うきっかけをつくるのは、私たち大人なのです。

年齢が進むにつれ、活字離れが進んでいます

近年、テレビやビデオなどの映像の発達や、インターネット、携帯電話の普及などにより、子どもたちの生活環境は大きく変化しています。この変化により、子どもの活字離れが進んでいます。

平成16年5月に全国で行った「第50回読書調査」では、1か月間にまったく読書をしていない子どもの割合は、小学生では7%、中学生で19%、高校生で43%となっています。年齢が進むにつれ、読書離れが進んでいることがわかります。

「家庭では、あまり本は読まれていない」という富士市の現状

平成17年3月に、市は、市内の学校や家庭などを対象に、読書に関する調査を実施しました。

その結果、幼稚園や保育園、学校では、読書活動が活発に行われていることがわかりました。

一方、家庭での読書はあまり活発ではないようです。読書が家庭で習慣化されていない原因は、最近の子どもを取り巻く環境や、保護者の読書状況などが大きく影響しているようです。

本との出会いから得られることは、たくさんあります

皆さんも、本を読んで悲しんだり、どきどきしたりした経験があると思います。子どもも、わくわくするような本との出会いから、新しい発見や未知なる体験をし、心を豊かにしていきます。やがて経験する社会とのかかわりの中で必要な、他人に対する思いやりや、生きる力もはぐくまれます。

また、子どもは読書を通して、言葉を学んだり、考えたり、判断したり、表現する力を高めたりします。

こんなにもたくさんの方が得られる読書に、子どものころから親しむことができましたら、すてきだと思いませんか。

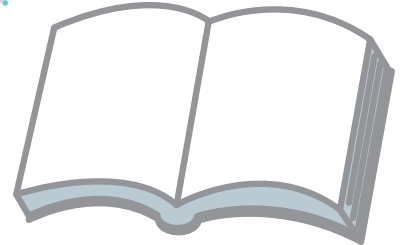
平成17年度に市立図書館で 貸し出された本 **ベスト5**

絵本

- 1★「ぐりとぐら」中川李枝子／さく
- 2★「はらぺこあおむし」エリック＝カール／さく
- 3★「ぐりとぐらのおおそうじ」なかがわりえこ／文
- 4★「三びきのやぎのがらがらどん」マーシャ・ブラウン／え
- 5★「わたしのワンピース」にしまきかやこ／えとぶん

読み物

- 1★「かいけつゾロリシリーズ」原ゆたか／さく・え
- 2★「ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 上・下」J.K. ローリング／作
- 3★「ハリー・ポッターと炎のゴブレット 上・下」J.K. ローリング／作
- 4★「ブカブカチョコレート島こおりの国のにんじゃ」原ゆたか／著
- 5★「エルマーのぼうけん」ルース・スタイルス・ガネット／さく



子どもが読書を楽しめる街にしよう

ことし2月、市は、「富士市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

これは、家庭や地域、学校、図書館などが連携し、子どもが読書に親しめる環境を整えていこうというものです。

これまで、さまざまな場所で、子どもの読書活動が行われてきました。しかし、現状を見ると、子どもの読書は活発だとは言えません。子どもが読書を楽しめる街にするためには、子どもが本と出会う場所を整えたり、きっかけを与えたりすることが大切です。

それは、家庭や地域など、皆さんの身近な場所にあります。

そして、子どもに本との出会いの場を与えるだけでなく、保護者も子どもと一緒に本を楽しむことが、読書の推進につながります。

少しでも、時間ができたときには、家族で読書の時間を持つてはいかががでしょうか。

中央図書館で、毎週開催されている「おはなし会」





きょうから 本との 出会い

皆さんは子どものとき、どこで本と出会いましたか？
皆さんの身近にある、本と出会う場所。今回は、4つの場所をご紹介します。ぜひ、参考にしてください。



図書館を利用したり、読み聞かせに参加したりしている
海野理代さん・清夏ちゃん
(松岡)

少しでも、本を読む時間を大切にしたいですね

子どもが生まれてから図書館によく通うようになり、3人の子どもたちは本が大好きになりました。今は、幼稚園に通う子に読み聞かせをしています。ときどき、小学生の子たちが下の子に本を読んでもくれることもあるんですよ。

本は、子どもの想像力をはぐくんでくれるように思います。本を通じて、心が豊かな人に成長してほしいと願っています。絵本は、子どもが読む本のように思われがちですが、大人も十分に楽しめますよ。本を読み終わった後は、優しい気持ちになって心がいやされます。読み聞かせの時間は子どものためだけでなく、私も一緒に楽しむ時間になっています。皆さんも、ぜひ絵本を読んでみてください。これからも、本を読む時間を大切にしていきたいですね。

家庭で



田子浦公民館文庫「パンの笛」代表
今井 弘美さん
(川成島)

読み聞かせを通して、子どもたちに本の楽しさを伝えたいです

私たち「パンの笛」は、田子浦地区の公民館や小学校などで、主に絵本の読み聞かせをしているグループです。私は、6年前に友人に誘われて参加しました。最初、子どもたちの前で本を読んだときは、笑顔で話すことだけで精いっぱい、何度も娘を相手に練習しました。

子どもたちは、自分からは読まないような本でも、読んであげると興味を持って聞いてくれます。同じ本ばかりだと子どもは飽きてしまうので、マンネリ化しないように心がけています。読み聞かせを楽しんでくれる子どもたちの笑顔や、話に夢中になっている真剣な顔を見ると、活動をしてきてよかったなと感じます。私たちのような読み聞かせを行うグループは、ほかの地域にもあります。ぜひ、機会があったら参加してほしいですね。

地域で



ほかにもあります！

本と出会う場所



◆移動図書館

約3500冊の本を積んだ「移動図書館車ふじ号」が、各地域の公会堂やスパーなど27か所に出向きます。巡回する日程は、広報ふじ毎月20日号をごらんください。

◆公民館

皆さんは、図書コーナーのある公民館があることをご存じですか。図書館を通じて、定期的に本の入れ替えを行っている公民館もあります。ぜひ、ご利用ください。

◆本はともだち子どもまつり

毎年、開催しているイベントです。大型絵本や紙芝居など、絵本とお話の世界を楽しみます。か
とき 6月24日(土)10時～12時
ところ 富士北公民館



学校で



子どもと本を結びつける手助け
をしていきたいですね

昨年からは、全校に学校図書館司書が配置され、以前、かぎがかかっていた図書室には、いつも人がいるようになりました。現在は、子どもたちは休み時間や放課後など、いつでも自由に本を借りられます。本の貸し出しもパソコンで行い、昔と比べいぶん変わりましたね。授業で調べものがあるときなど、頻繁に利用されるようになりました。もっと利用してもらえよう、今後は子どもたちに本の活用方法を教えていきたいですね。

また、全クラスで週1回行う朝の読み聞かせや、掲示物の作成などは、地域ボランティアの人たちにご協力いただき、子どもへ読書活動を呼びかけています。今後も、地域の人たちや保護者と連携して、子どもと本を結びつける手助けをしていきたいと思っています。



吉永第一小学校の学校図書館司書

戸塚 雅子さん

図書館で



本を通じて、親と子のコミュニケーションを図ってほしい

図書館では、子どもに本と親しむきっかけづくりになればと考え、おはなし会で読み聞かせをしたり、テーマごとに本を展示したりしています。

また、日ごろから子どもが本と出会うには、周りの大人に働きかけることも重要だと感じています。

以前は、母親と来館する子どもがほとんどでしたが、最近では、父親も子どもと一緒に来館してくれて、うれしく思います。公園に行ったり、近所を散歩したり、親子で楽しめることはたくさんありますが、ぜひ本を通じて、親子で共有できる時間を楽しんでもらいたいですね。子どもが成長し大人になったとき、その時間がきっと宝物になるはずです。

皆さんも、ぜひ家族そろって、図書館へ来てみてください。



中央図書館

高井 さといさん (左)

芹澤 昭代さん (右)



問い合わせ

中央図書館

☎ 51-4946

FAX 51-7135

E library@div.city.fuji.shizuoka.jp

これを機会に、子どもたちに本とのすてきな出会いをつくってあげましょう。
もちろん、子どもだけでなく、あなたも本との出会いを探してみてください。